



# 第二部 上海市の最新消費行動について

## 第一章 消費者の基本状況

## 2-1-1. 上海の消費者基本状況：収支/婚姻状況

- ◆上海市の統計によると、都市部の1世帯あたりの人数は「2.56人」と核家族化が進んでいる。インタビューでも同居しているケースもあったが、近くに両親が住んで頻繁に往来しているというケースがよく聞かれた。（共働きの夫婦のために、平日は孫の面倒をみるなど）
- ◆1人あたりの可処分所得は、2023年上半期の都市住民で44,922元（1カ月あたり7,487元）、支出は27,439元（1カ月あたり4,573元）となっている。

### 上海市：都市住民の家庭生活の基本状況

指標	2015年	2020年	2021年
<b>基本状況（人数）</b>			
1世帯の平均人口	2.64	2.56	2.56
1世帯の平均就業人口	1.26	1.12	1.12
1人の就業人口が負担する人数（本人も含む）	2.09	2.28	2.28
<b>家庭収入と支出（人民元）</b>			
1人当たりの可処分所得	52,962	76,437	82,429
1人当たりの消費支出	36,946	44,839	51,295

指標	2023年上半期		
	全市居民	都市住民	農村住民
1人当たりの可処分所得	42,870	44,922	24,418
1人当たりの消費支出	26,155	27,439	14,607

### 上海市：個人平均預金額（元）

年度	個人平均預金額 （元）
2019	137,123
2020	153,926
2021	171,335

### 上海市：婚姻状況

年度	結婚登記 （万組）	初婚 （万人）	再婚 （万人）	離婚件数 （万件）
2019	9.87	12.01	7.72	6.17
2020	9.22	11.05	7.39	6.67
2021	8.98	11.40	6.57	6.57

データ出所：上海市統計局「上海統計年鑑2022」<https://tjj.sh.gov.cn/tjnj/nj22.htm?d1=2022tjnj/C0902.htm> <https://tjj.sh.gov.cn/tjnj/nj22.htm?d1=2022tjnj/C0904.htm>

2023年7月20日 <https://tjj.sh.gov.cn/ydsj71/20230718/2a3cf87bc0074c7eac4fb059ea49b8f3.html>

## 2-1-2. 上海の消費者基本情報：収支詳細

- ◆消費支出を見ると、一番大きな割合を占めているのは「住居費」、続いて「食品」（タバコや酒類の嗜好品も含む）となっている。
- ◆2021年に増えている項目を見ると、「娯楽・教育・文化」（前年比28.4%増）、そして続いて「医療保健」（同27.4%増）、さらに「交通通信」（同22.3%）、「衣類」（同22.1%）などが続く。  
「住居費」（同5.5%増）はそこまで上がらなかったと対して、趣味や娯楽、医療面などでの増加が顕著だ。

### 上海市：都市住民1人当たりの収支、及び内訳（2018～2021年）

単位：人民元/人

指標	2018	2019	2020	2021	2021年成長率(%)
1人当たり可処分所得	68 034	73 615	76 437	82 429	7.8
1人当たりの消費型支出	46 015	48 272	44 839	51 295	14.4
食品・煙草・酒類	11 104	11 273	11 515	12 878	11.8
衣類	2 139	2 162	1 763	2 153	22.1
居住	15 376	16 253	16 465	17 370	5.5
生活用品とサービス	2 205	2 215	2 177	2 328	6.9
交通通信	5 108	5 626	4 677	5 721	22.3
娯楽・教育・文化	5 491	5 966	3 963	5 090	28.4
医療保健	3 222	3 332	3 189	4 063	27.4
その他商品とサービス	1 370	1 445	1 090	1 692	55.2



# 第二部 第二章 消費者インタビュー

## 2-2-1. 消費者インタビューに関して

- ◆2023年12月、上海市内に住むさまざまな年代、職業、趣味、家族構成の消費者10組にインタビューを実施。収入と支出、余暇の過ごし方、使っているアプリ、トレンド、買い物時に何を参考にするか、ライフスタイルなどの質問に対し、自由に回答してもらった。  
10組中8組は対象者の自宅にて取材。部屋の様子、ペット、家電のほか、近隣の様子なども撮影している。



- 1、YOYO (30代、主婦)**  
2歳の子供の子育て、ペット多数、義父母と同居、家族旅行が趣味



- 2、Nora (30代、ジュエリーデザイナー)**  
夫婦二人暮らし、海外旅行好き、多趣味、ペット、結婚後も賃貸マンション居住



- 3、Shiqi (30代、小説家)**  
一人暮らし、自由業、ペット、多趣味、文化財建築に居住、レンタカーで旅行



- 4、Hui (50代、主婦)**  
幼稚園児の子育て、習い事、家事、食材へのこだわり、夫は単身赴任



- 5、lilian (30代、会社員)**  
郊外商圏生活、小学生の子育て、習い事、自分の仕事と趣味も充実



- 6、CHEN (30代、会社員)**  
市内商圈生活、一人暮らし、トレンドに敏感、海外旅行好き、習い事、ペット



- 7、奕辰 (20代、モデル・フォトグラファー)**  
市内商圈生活、一人暮らし、Z世代男子、アウトドアスポーツ、多趣味、ペット



- 8、阿琼 (20代、キャンプ場経営者)**  
郊外生活、アウトドア事情、イベント企画、手作り、ブッシュクラフト



- 9、Grece (40代、会社員)**  
70代両親と三人暮らし、地域の高齢者施設、国内旅行、年金生活



- 10、周国強、曹小鳳 (70代、無職)**  
息子と孫との暮らし、定年退職後の生活、国内旅行、日常の買い物、ペット

## 2-2-2. 子供とペットに、いいものを厳選

YOYO (30代、主婦)

◆ 楊浦区に夫、子供(2歳)、夫の両親と暮らすYOYOさんは、出産後保育士の仕事を退職し、子育てに専念中。マンションの同じ棟(階違い)に2部屋を所有(一つは賃貸)し、行き来しながら生活している。生活に欠かせないものは子育てツール(乳幼児向け通信教材、育児系アプリ)とペットたち(犬、猫、カメ、ハムスター、観賞魚など)だそう。旅行は、自家用車で青浦区に借りている別荘へ行くことが多い。理由は、「子供や犬たちとのんびり過ごせるから」。



## プロフィール

YOYO(1988年生まれ、上海出身、楊浦区在住)

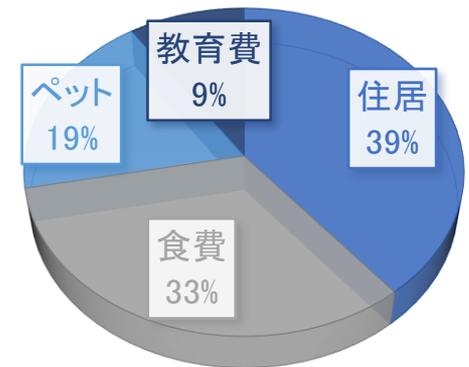
職業: 主婦(元保育士) 世帯収入: 5~10万元/月 家族構成: 夫(物流、貿易関係)、子供(2歳)、夫の両親(60代)

## ＜主な支出＞

もっとも多いのは食費。外食は月数回で、一回の予算は300元。油や塩分の少ない、子供でも安心して食べられるものを選んでいいる。ペットフードも健康的なものを厳選。高齢の犬の心臓が悪いため、月4,000元くらいかかっている。教育費はベネッセの「こどもちゃれんじ」が月約500元。現在の住まいは持ち家だが、青浦区に賃貸(2万元/年)の別荘を所有している。

## その他トピック

- 住まい: マンション(約100平米、約18,000元/平米)。同じ棟内にもう一部屋借りている。
- 出産、子育て関連の支出: 月子会所(産後ケア施設)を利用(約10万元/月)
- 食品の主な購入先は、ニューリテールスーパー「盒馬」、会員制スーパー「サムズクラブ」(理由: 市場やスーパーへ行くより便利だから)
- 日用品の主な購入先は、ECアプリ「天猫」(30分で配達してくれるサービスを利用)



## 2-2-3. 子供とペットに、いいものを厳選

YOYO (30代、主婦)

### <余暇の過ごし方>

出産前は友達と遊びに行ったり、ゲームをするのが趣味だったが、今は子供中心。自分の趣味に費やす時間はない。家族全員動物が好きなので、子供と動物園や水族館へはよく出かける。あとは家族旅行。一家で乗れるファミリータイプの7人乗りハイブリッド車(理想・ONE)を所有。夫の趣味が釣りなので、それについて行くことも。



### <「こどもちゃれんじ」を愛用>

私は元々保育士で、幼児教育に関してはプロの立場だが、「こどもちゃれんじ」は内容を見て子供も受け入れやすいと思い定期購読を決めた。まわりの友人たちの口コミも参考にした。定期的に雑誌といっしょに教材のおもちゃが送られてくるほか、アプリもあって便利。トイレトレーニングや歯磨きも、子供が遊びながら覚えることができた。デザインもいいと思う。そのほか、育児関連では「白貝殻(ベビーケア)」の商品を試したことがあるが、デザインがあまり良くなく使い難かった。

## 2-2-4. 子供とペットに、いいものを厳選

YOYO (30代、主婦)



←子育て関連アプリのフォルダ



いちばんよく使っているのは「親宝宝」→

### ＜アプリ＞

いちばんよく使っているのは写真・動画共有SNS「**小紅書**」。いろいろな情報が写真や映像で入手できるから。**何かを購入するときもロコミ、投稿、SNS内の広告をすべて見て吟味する**。たとえばおむつを買ったときも、それらを見ながらいろいろな種類を試した。ただ、「小紅書」は最近広告っぽい投稿が増えているのが残念。最近よく使っているのは「**親宝宝**」。子育て中の人専用のSNSで、幼児教育に関する情報や子供向けのゲーム、離乳食などのレシピも検索できる。魅力は、タイムラインに子供の写真を遠慮なく投稿でき、友人や親戚などつながっている人の子供たちの成長も見られること。孫がいる世代の人の利用も多いと思う。「**微信**」も使うが、一般の友人や仕事関係の人に子供関連の投稿ばかりを見せるのは気が引ける。スマホの利用時間は日によって異なる。

## 2-2-5. 子供とペットに、いいものを厳選

YOYO (30代、主婦)



### <ペット>

家族全員が動物好き。義父母もかわいがっている。  
現在飼っているのは犬1匹、猫2匹、カメ1匹、  
ハムスター1匹、鑑賞魚1匹で、フード代、医療費など  
合わせて月4,000元ほどかかっている。  
犬はマンション内の2部屋を行き来しながら過ごしている。



## 2-2-6. 子供とペットに、いいものを厳選

YOYO (30代、主婦)



### <トレンド>

マンション沿線の地下鉄18号線は、「乗換王」と呼ばれるほどいろいろな路線に乗り換えられる路線なので、どこへ行くにも便利。マンションの値段も上がっている

ので、今後期待できる。そのほかの流行に関しては、出産以降友達とも遊ばなくなってしまったのでわからない。

### <ライフスタイル>

上海では、女性が主婦なのはめずらしいと思う。だが、私は保育に関わってきたので、今の時期に母親が子供といっしょにいることは重要だと考えている。ある程度大きくなったら仕事を再開予定。そもそも、私は子供を生もうと思っていなかった。夫は高校の同級生で、2014年に結婚。それまでずっと子供のことは考えていなかったが、生まれてからは意外に楽しいと思うようになった。今ではなくてはならないものになっている。私も夫も、生まれたときから楊浦区に住んでいる。黄浦江が近く、上海最古の水道施設(浄水場)「楊樹浦水廠」がある。義父は元々ここで働いていたそう。現在のマンションも敷地内が公園のように整備されているので気に入っている。

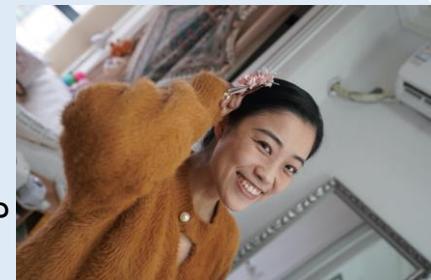
部屋の窓から  
黄浦江が見える



←マンションの敷地内は公園のように整備されていて快適

## 2-2-7. 夫婦で趣味を満喫中 Nora (30代、ジュエリーデザイナー)

- ◆ 2023年に結婚したNoraさんは、**楊浦区**にて夫と**保護猫**2匹と暮らしている。職業はジュエリーデザイナー。中国軽工珠宝鑑定士の資格も持つ。自宅はジュエリー工房も兼ねており、デザインやEC(淘宝、微信)での販売事務などを行なっている。仕事以外では、**海外旅行**、**ヨガ**、**PADIマーメイドスイム**などアクティブな趣味が多数。住まいは市中心部から離れており地下鉄の駅からも遠いが、間取りや日当たりを重視して選んだ。普段は**電動バイク**を利用。



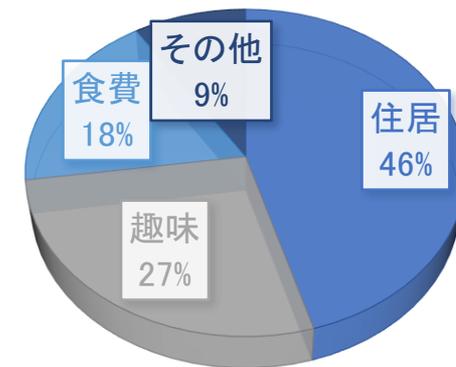
### プロフィール

Nora (1985年生まれ、上海出身、楊浦区在住)

職業: ジュエリーデザイナー 世帯収入: 2万元/月 家族構成: 夫(公務員)

### <主な支出>

もっとも多いのは家賃(6,600元/月)。食費はそれほど。基本的に自分で作るが、両親も楊浦区に住んでいるので、実家に食べに行くこともある。外食は週1回程度で、予算は1人200~300元。習い事で今ハマっているマーメイドスイムは、証書を取るまでに3,000元(期間は決まっていない)。ペットの猫にはそれほどお金はかからないが、避妊手術で雌300元、雄100元がかかった。



### その他トピック

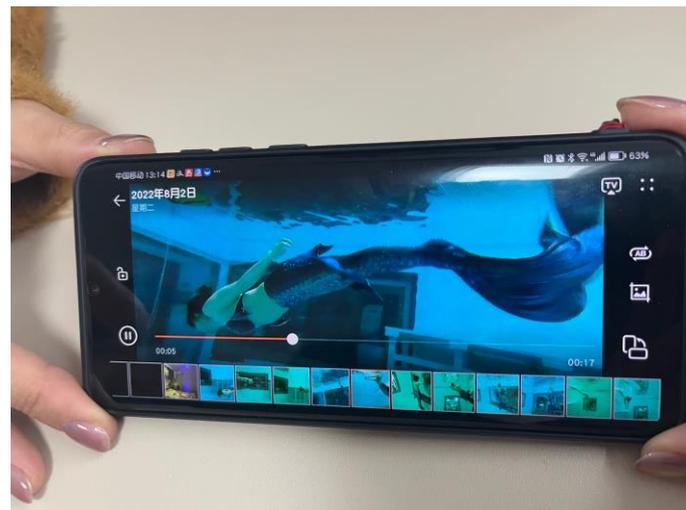
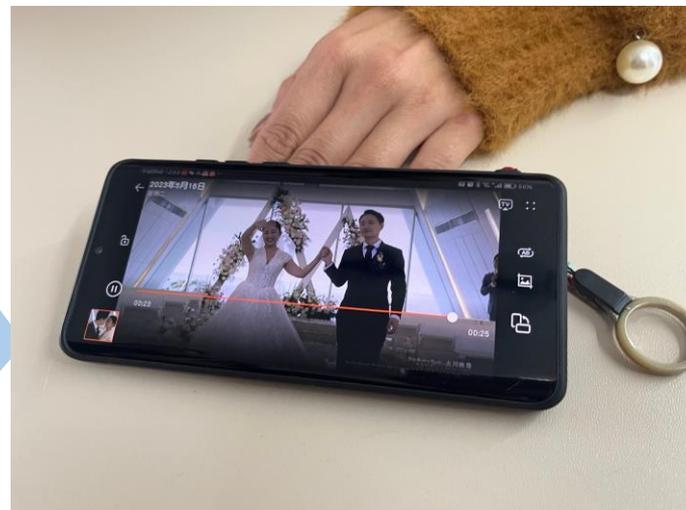
- 上海人は結婚を機に不動産を買う人が多いが、私は一般的な人ではないので買っていない。
- 結婚式と写真撮影、新婚旅行を兼ねた海南島への旅行はトータルで27,000元かかった。
- 食品の主な購入先は、小区入り口にあるスーパー「清美」、または「叮咚买菜」(便利だから)。
- 日用品の主な購入先は、ECアプリ「淘宝」、ディスカウントチェーン「好特卖」

## 2-2-8. 夫婦で趣味を満喫中

### ＜余暇の過ごし方＞

趣味は**ヨガとダイビング**。海が好きなので、新婚旅行も海南島を選んだ。結婚式は旅行も兼ねて2人だけで。元々人が多くて賑やかなのが嫌い。**式の様子はライブ配信**し、友人や家族には配信で参加してもらった。ダイビングで今ハマっているのは、PADI(国際的なダイビング教育機関。日本にも教室あり)の**マーメイドスイム**。人魚のような尾ひれでダイビングできる資格で、専用プールのある教室に通っている。深度は10メートルほどで、何分潜れるようになるかなどの訓練を受けている。いつ行くかは自由なので、行きたいときやストレス解消したいときに**資格取得**を目指して通っている。映えや写真撮影目的でもある。きっかけはやっぱり実際の**ビジュアル**を見て。広告や口コミは見なかった。新しいスポーツや、やったことがないことに興味を持つ人は増えている。マーメイドスイムは流行り始めていると思う。**海外旅行**も趣味の一つ。コロナ前までは年1回は行っていたが、今は収入も減ったため難しい。これまで**エジプト、イスラエル、ヨルダン、日本、スリランカ、タイ、ニュージーランド、インドネシア**、あとは**北欧**にもいろいろ行った。今後も海外に行きたい。行き先の決め方は、「まだ行ったことがないところ」を吟味して決める。

## Nora(30代、ジュエリーデザイナー)



## 2-2-9. 夫婦で趣味を満喫中

Nora (30代、ジュエリーデザイナー)

### <アプリ>

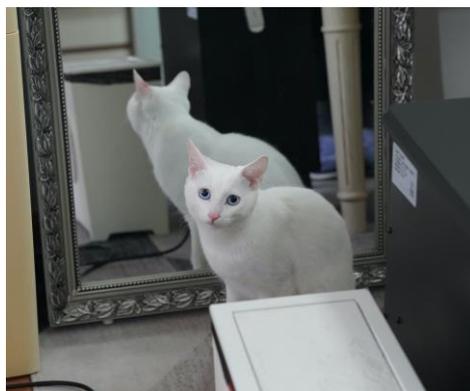
仕事で商品を販売するのに使っているのは「**淘宝**」とSNS「**微信**」。ここからの購入者層は30~40代の女性が多いが、高齢者もいる。ただ、最近は市場環境の変化からあまり売れなくなっていると感じる。

趣味でよく見るのは動画アプリ「**bilibili**」。料理動画を見る。ショート動画アプリ「**抖音**」はごちゃごちゃしていて一本の動画が短すぎるので見ていない。

外食のお店選び時に見るのは口コミアプリ「**大衆点评**」。レビューなどを参考にする。展覧会や音楽ライブに行くことも好きなので、チケット情報などがわかるイベント情報アプリ「**走起**」もよく使う。検索や購入歴から**お勧めを表示**してくれるのが便利。夫はさらにライブ好きなのでチケット情報アプリ「**秀動**」もよく使っているようだ。使う時間に関しては決まっていない。



← イベントや  
展覧会情報が  
わかる「走起」  
が便利



### <ペット>

保護猫を2匹飼っている。おもちゃやベッドなども買い与えている。購入場所は「**淘宝**」で購入。

## 2-2-10. 夫婦で趣味を満喫中 Nora (30代、ジュエリーデザイナー)



↑ 上海創業の豆腐メーカーが展開する人気スーパー「清美」



### ＜食材の買い物＞

食事は自分でつくることが多い。普段の買い物は、マンション敷地内を出たところにあるスーパー「清美」。生鮮から調味料、雑貨、飲料などすべて揃うので便利。

### ＜移動＞

マンションは地下鉄の駅からやや遠い楊浦区の郊外に位置。普段の足は電動バイク。夫と1台ずつ所有している。メーカーは「雅迪」。



## 2-2-11. 夫婦で趣味を満喫中

Nora (30代、ジュエリーデザイナー)



### <トレンド>

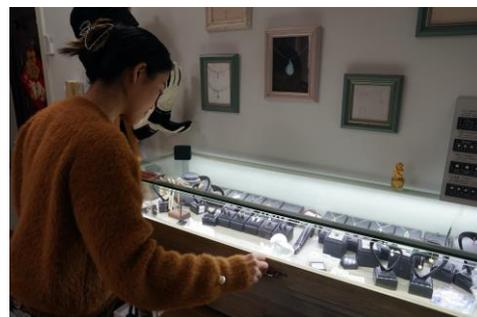
数年前から流行っている**漢服**(写真を撮ってアップする目的がメインで、「小红书」などから流行)。私も夫と一緒に着て撮影したりしている。着用済みのものはフリマアプリ「**閑魚**」で売り、そこでまた新しい古着の漢服を買って来て撮影するというサイクルを楽しんでいる。

漢服に合うヘアアクセサリを自分でつくり、つけたり販売したりもしている。

### <ライフスタイル>

普段は自宅でジュエリーデザインの仕事をしている。デザイン画を書き、工場に発注し、ECで販売。夫は7歳年下。脱出ゲームで知り合った。夫も多趣味。『ハリーポッター』が好きなので、明日から**北京のユニバーサルスタジオ**に行く予定。あとは**日本のプロ野球**と**箱根駅伝**を観戦するのが好きらしい。きっかけは日本のアニメだそう。

結婚後は、夫と**月1人2,000元ずつ貯金**しようと決め、実行している。去年の結婚式のご祝儀もすべて貯金した。コロナのことがあってから、備えた方がいいと思うようになった。冷蔵庫にも常に食料がぎっしり入っているようにしている。**株や投資**は、一回下がって損したことがあるので**もうやらない**と決めている。



自宅リビングがジュエリーの工房になっている



## 2-2-12. 文化財建築で暮らす Shiqi (30代、小説家)

◆ Shiqiさんは、2023年にデビューした小説家。原稿料やイベント出演、本の売上だけではまだ食べていけないため、**不動産仲介の副業**をしながら執筆活動をしている。2024年で築100周年を迎える文化財建築「黒石公寓」のルーフトップにて、保護犬と生活中。収入が安定していないため、特に**コロナ以降節約思考**になったと言うが、犬を連れて旅行したり、チェロを習ったりと、**趣味にはお金をかけている**。



### プロフィール

Shiqi (1992年生まれ、広州市出身、2019年より上海在住、徐匯区在住)

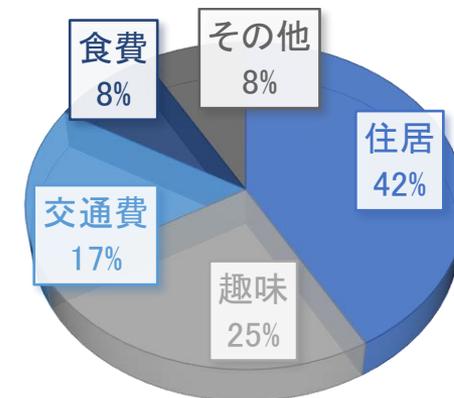
職業: 小説家、不動産関係 世帯収入: 毎月異なる 家族構成: 一人暮らし

### <主な支出>

家賃は8000元/月。文化財建築「黒石公寓」のルーフトップのワンルーム。次に多い支出は趣味や習い事。ジムは年会費が1万元。習い事のチェロは1コマ600元/60分。ほか、仕事で使う「滴滴」での移動代は1,000元/月、犬関連は500元/月。

### その他トピック

- 旅行に犬を連れて行くため、レンタカーをよく使う。値段は保険込みで250元/日。
- 友人や仕事関係の人とお酒込みの夕食をすることも多い。予算は平均200元/人。
- 食品の主な購入先は、スーパーマーケット「City Super」のデリバリー。作りたくないときはデリバリーアプリ「餓了麼」などもよく利用する。
- 自炊、外食、デリバリーの割合は1:1:1。プラ容器のゴミが増えるデリバリーは控えるよう心がけている。



## 2-2-13. 文化財建築で暮らす

## Shiqi (30代、小説家)

### <余暇の過ごし方>

習い事は**チェロ**。学生時代に挫折してしまったので、再びチャレンジ中。住まいが音大近くなので、チェロは近所の楽器店で購入。値段は言えないほど高い。先生は音大の卒業生で、1コマ45分のところ、同じ値段で60分教えてもらえるよう交渉した。ヨガもできるジムにも通っている。年会費は**1万元と高いが、上海市中心部では妥当**だと思う。旅行も趣味。よく行くのは**舟山(浙江省)**。犬がいるので**レンタカー**で。気軽に行ける距離で、山など自然があるとこが気に入っている。実家のある広州市へもレンタカーで帰省することがある。



### <アプリ>

「**微信**」、決済アプリ「**支付宝**」などの最低限のアプリ以外ほとんど使っていない。仕事柄、SNS「**微博**」は使う。

「**小紅書**」も「**抖音**」も使わない。理由は、アップされている内容に何も感じないから。そこで得られる口コミなども、自分と考え方が違うことが多いから。何かが必要なときは、**リアルな友達に聞くのがいちばん**。まわりにデザイナー、カメラマンなど信頼できる友人も多いので。または**自分で実際に試して決める**。たとえば、家事代行の人なども、信頼できる人から紹介してもらったほうが安心できると思う。



自宅での仕事風景。  
アプリより、リアルの友人派。

## 2-2-14. 文化財建築で暮らす

Shiqi (30代、小説家)



実際に試して  
使いやすいものを選ぶ。  
お香も好き→



### <トレンド>

あまり流行に興味がないので。服も友達にもらったものが多く、ここ数年買ってない。  
コスメは、自分でオフラインの店で試していいと思ったものを使っている。よく行くショップは「話梅」。最近ずっと使っているのは資生堂の「BAUM」。それと、北京に行ったときに試していいと思った同仁堂の「人參維生素E乳」。どちらも、アレルギー肌でも使えるところが気に入っている。

### <ペット>

2023年に飼い始めた保護犬。譲渡会で出会った。推しのアイドル・道枝駿佑に似ている。食費などは月500円ほど。自宅周辺は散歩にもぴったりの環境。



## 2-2-15. 文化財建築で暮らす

## Shiqi (30代、小説家)

### <住まい>

不動産の仕事をしているため、縁あって偶然現在の部屋を見つけることができた。2024年で築100年を迎える。古いワンルームで8,000元/月は高いと思うが、歴史、立地などを考えるとそれだけの価値があると思う。バルコニーが広く、最上階なので市街地を見渡すことができる。同じ棟のなかには音楽関係者(指揮者、楽器職人など)が古くから住んでいる。家具などはもともと備え付けられていたもの。階下には、ブームのアナログレコードも扱うセレクト書店とカフェがあり、仕事の合間に訪れることも。



## 2-2-16. 文化財建築で暮らす Shiqi (30代、小説家)



←2023年に出版した  
デビュー作。  
ペンネームは「西藤」。

### ＜今後について＞

**コロナ以降、貯金を考えるようになった。**

まわりの友人たちにもそういう人が増えた。ただ、コロナは関係なく、貯金派は以前から一定数いたと思う。30代以降は貯金をしたほうが良いという人は多い。私の場合は、自分の時間のための貯金。自分の時間を確保するためのもの。体験や空間を買うためのもの。長期的に考えると、**もう老後のことも考えなければならない**。医療を受けるにしても、施設に入るにしても、お金はあったほうが良い。あるとないのでは、入院する部屋のランクも違ってしまふ。そう考えると、貯金は何かを所有するためのものではなく、体験(医療サービスなど)や空間(それを受ける条件やランク)などのためになると思う。

### ＜ライフスタイル＞

学生時代、立命館大学に留学し、中国の出版業界について研究していた。その後、不動産関連の仕事をしてながら小説の勉強を続けてきた。できるだけ執筆だけで暮らしたいが、生活のために副業をしている。不動産関連の業務は、主に顧客の不動産を借り手に紹介する仕事。海外の物件も扱う。**ただ、2023年以降不動産市況の影響で、現在はほとんど収入がない状態**。以前は買い物をする際、値段を見ずに好きなものを買っていたが、今はどうしても値札を見てしまう。



## 2-2-17. 子供と一緒に習い事を楽しむ

Hui(50代、主婦)

◆浦東新区に住むHuiさんと息子(5歳)はともにピアノが趣味。習い始めてからは、息子の上達の速さに驚いているという。夫は広東省に単身赴任。帰宅は2ヶ月に1度で、その間はお手伝いさんに一部家事を任せつつ子育てをこなしている。衣服などにはお金をかけない派だが、食べ物にはこだわり、なるべくいいものを買うようにしているそう。情報は近所の子育て世代とのグループチャットから得ることが多いという。



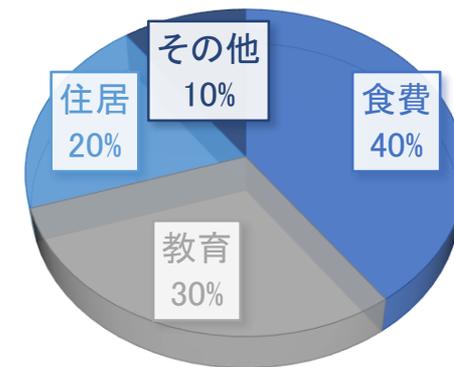
## プロフィール

Hui(1971年生まれ、上海出身、浦東新区在住)

職業: 主婦 世帯収入: 非公表 家族構成: 夫(単身赴任のため普段は不在)、息子(5歳)

## ＜主な支出＞

住まいは持ち家で、駐車場は100元/月(ベントを所有)、管理費などが1,100元/3ヶ月。そのほかに蘇州市と松江区に部屋を持っており、それぞれ管理費がかかる。支出がもっとも多いと思うのは食費。または習い事だと思う。息子のピアノは24コマで6,500元/45分。週1コマずつ通っている。ほか、幼稚園が1,000元/月、お手伝いさんが1,000元/月など。



## その他トピック

○現在住む浦東新区のマンションは2003年に約67万元で購入。蘇州市と松江区にも不動産を所有。

○YAMAHAのピアノは10年前に28,000元で購入。現在は3万元の価値に。

○食品の主な購入先は、食材EC「叮咚买菜」で週1回まとめ買いする。「サムズクラブ」も利用。外食はしない。

○デリバリーはほとんどしないが、「シャングリラホテル」など信頼できる5つ星ホテルのお弁当は頼むことがある。1食160元。

## 2-2-18. 子供と一緒に習い事を楽しむ

Hui(50代、主婦)

### ＜余暇の過ごし方＞

趣味として10年前にピアノを始め、出産後は息子も習うようになった。今も、趣味といえばピアノがすべて。ピアノを始めてからルイ・ヴィトンのようなブランド品にも興味が向かなくなった。

旅行もよく行く。出産前は2～3ヶ月に1回は行くほど日本が好きで、大阪にマンションを購入しようか考えていたほど。今は子育てが忙しいので行かなくなったが、子供と上海市内の水族館に出かけたり、夫が赴任する広東省に行ったり。いちばん最近の家族旅行では、雲南省の西双版纳(シーサンパンナ)に行った。



### ＜アプリ＞

買い物でよく使うのは「淘宝」。ライブコマースで子供服などをよく買う。食材は「叮咚买菜」。日用品はEC「京東」で買うことが多い。

「小红书」は、家電などを買うときに機能、値段を調べたり、口コミを見て選ぶのに使っている。

「微信」には「小区媽媽圈(住宅敷地内のママグループチャット)」があり、ここで食材のお買い得情報、教育情報、お手伝いさんの紹介などの生活情報を入手している。

スマホを見ている時間は1日5時間くらい。ライブコマースを見ている時間がもっとも多い。



↑スマホにはアプリが色々



↑「淘宝」で見ているライブコマース



↑「叮咚买菜」

## 2-2-19. 子供と一緒に習い事を楽しむ

Hui(50代、主婦)



↑ 25円で買った子供服



↑ 小熊の電気ポット



↑ 洗濯機はハイアール、  
冷蔵庫は美的



↑ 野想のブロック

### <トレンド>

「淘宝」「微信」などのライブコマースが気になる。子供服は20元ほどなので、ほとんどそこで購入している。自分用の温感インナーはたった8元だった。

以前はユニクロが好きだった。合わせやすく、品質がいいので長く着られるから。ただ、値段が高いため買わなくなった。うちは比較的収入が多いほうだと思うが、夫も私も節約志向。これは小さい頃からの生活習慣によるものだと思う。収入が多いからといって高級品を買おうとは思わない。

双11(11月11日)にもよく買い物をする。最近買ったのはハイアールの洗濯機(1,800元)。「小紅書」で口コミなどを見て決めた。あとは小熊の電気ポットも。以前は日本のメーカーが好きだった。今使っているプリンターもエプソンのも。ただ、国産でも安くていいものがどんどん出ているため、最近は家電だとハイアールや小熊を選んでしまう。

子供のおもちゃも、たとえばレゴは子供も好きなのでたくさん持っているが、最近買った野想(PLEYERID)という国産のブロックがとてもよかった。USBで完成品にライトをつけることもできる。家電やおもちゃ以外でも、安くて意外にいいと感じる国産メーカーは増えるのではないかな。

## 2-2-20. 子供と一緒に習い事を楽しむ

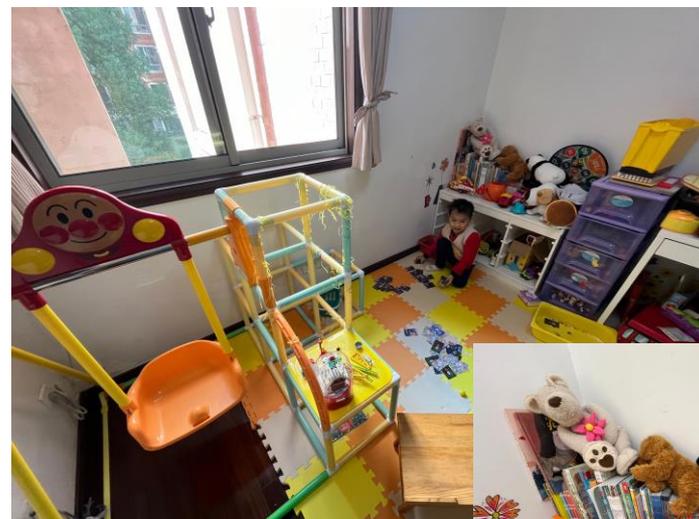
Hui(50代、主婦)

### <子供の教育>

息子はピアノのほかに**唐詩**を習っている。教室ではなく、自宅で私が教えていて、もう何首か暗唱することができる。まずは100首暗記が目標。その後は**成語**を教える予定。来年小学校なので、**英語**も始めている。でも、基本的には本人が興味を持ったことをやらせたい。

幼稚園も小学校も徒歩すぐの場所なので便利。学校などの情報は近所のママ友のグループチャットで入手している。

息子は「**ウルトラマン**」が大好き。といっても同年代の友達の間で流行っているわけではないよう。好きなものはみんな違うから。ブロック系のおもちゃも好きで、まとめて子供部屋に置いて遊ばせている。



↑ 子供部屋



唐詩などは自分で教えている。



ウルトラマンやロボット系のおもちゃが好き。

## 2-2-21. 子供と一緒に習い事を楽しむ Hui(50代、主婦)



マンション外観。近所のママ友とのグループチャットが情報源。

### ＜ライフスタイル＞

週1回頼んでいる**お手伝いさん(清掃、料理など)**は、ママ友のグループチャットでシェアしている(同じ人が、別の曜日は別の家で家事を行う)。そのほかはすべて自分で料理など家事をこなす。**外食は品質を信用できない**。忙しいときなどのために、餃子をつかって冷凍しておくなど、作り置きもしている。

買い物は「**叮咚买菜**」と「**サムズクラブ**」を使い分け。「サムズクラブ」の年会費は260元。特に肉類の品質がいいと感じている。ほかにケーキも大きくておいしい。

上海人女性で主婦をしているのは少数派だが、私は高齢出産だったため、出産を機に退職した。家事や教育で毎日忙しく、夫も単身赴任なので、仕事復帰の予定はない。

週一回お手伝いさんに家事を頼む。



外食はせず、食事はすべて手作りする。

## 2-2-22. 休日が充実する郊外商圏生活

lilian(30代、会社員)

◆ 物流会社で会社員として働くlilianさんは、90年代末に開通した地下鉄1号線の終点「莘庄」駅エリア在住。郊外商圏としては上海でもっとも早く開発されてきた場所だ。住まいは持ち家で、家族は夫と娘(10歳)。一般的な上海人女性同様、家事や教育は夫に頼り、自分の仕事や趣味に時間とお金を費やしながら充実の日々を送っている。習い事にも夢中だという。



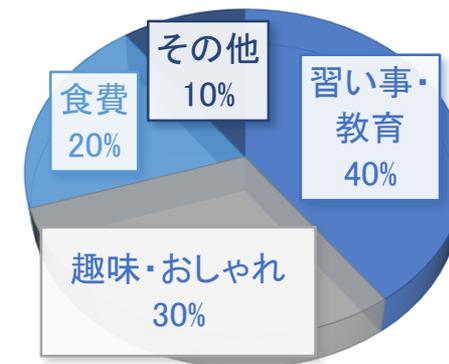
## プロフィール

lilian(1983年生まれ、上海出身、閔行区在住)

職業: 会社員(物流) 世帯収入: 4~5万元 家族構成: 夫(卸売関連)、娘(10歳)

## &lt;主な支出&gt;

住まいは持ち家。夫婦の財布を分けているので、一家の具体的な支出の割合はわからない。個人での支出がいちばん多いのは、自分と子供の習い事。一つの習い事につき授業料は年間4,000元ほどで、これを数種類。子供の晩託班(放課後の預かりサービス)は4,500元/月。平日の食事は同僚と外食することが多く、一回の予算は約200元。服やコスメを買うのも好き。



## その他トピック

- 自家用車は日産のインフィニティを所有。28万元で2015年に購入した。通勤は地下鉄。
- バイクが趣味(夫は乗らないので1人でツーリングに出かける)。バイクとスクーター2台を所有。
- 食品の主な購入先は、「盒馬」。近所のモール「凱徳龍之夢」に入っているのが便利。
- 普段はほとんど外食かデリバリー。または両親の家で食べることが多い。

## 2-2-23. 休日が充実する郊外商圏生活

lilian(30代、会社員)



↑ オフィスビルも併設する「凱德龍之夢」

### ＜萃庄での生活＞

住まいは「萃庄」駅から徒歩10分ほどのショッピングモール「凱德龍之夢」近く。老公寓(4~5階建てのアパート)で、**子供の学区内**ということを選んだ。

私が勤める会社は地下鉄4、10号線「海倫路」駅エリアにあり、毎日地下鉄で通勤している。所要時間は約1時間。自家用車は、休日に家族で出かける時に使う。

「凱德龍之夢」は地下に「盒馬」があるほか、飲食店、ショップ、ジム、習い事の教室など複数入っており、生活にとっても便利。外食もよくするし、子供と私の習い事の教室がほとんどこの中に入っている。ここでできた友達も多い。そのなかには、萃庄に住んで平日は市街地に地下鉄通勤しているというママ友も多い。



## 2-2-24. 休日が充実する郊外商圏生活

lilian(30代、会社員)

### <余暇の過ごし方>

2020年に**ズンバ**を始めた。コロナの影響で健康について考え始めたとき、流行っていたズンバに興味を持った。シンプルで、永遠に踊っていられる感覚になれるところがいい。もともと娘がダンスを習っていたので、その影響もある。教室は「凱徳龍之夢」のなかにあり、**先生はアフリカ人女性**。定期的に発表会があり、その際の衣装を選んだりするのも楽しい。費用は4,000元/年で、食事したりカフェに行ったりする友達もたくさんできた。

以前は旅行にもよく行っていたが、コロナ以降行かなくなった。まだあまり安心感がないし、支出もできるだけ抑えている。グラフィックデザインの仕事をしている友人(ズンバの教室で出会った)も、デザインした費用をクライアントから回収できないことが増えているという。深刻だと思う。

そのため、全体的に周りも「**理性消費**」を心がけている。たとえば、コスメなども以前は適当に買っていたが、今はいいものを厳選し、使い切ってから新しいものを買うようになった。

そのほか、個人的な趣味は**ロードバイク(自転車)**と**オートバイでのツーリング**。夫は興味がないというので、ほとんど私1人で乗っている。上海市街地ではバイクに乗れないので、郊外暮らしのメリットでもある。



←ズンバ仲間と

↓ロードバイク



↑1人ツーリングへ



## 2-2-25. 休日が充実する郊外商圏生活

lilian(30代、会社員)

### <教育>

娘もいろいろなことに興味があるようで、複数の習い事をしている。今習っているのは**中国舞踊**、**習字**、**バドミントン**。たくさんの習い事に通う生活は、既に彼女の習慣になっているよう。そのほか、月～金曜で**晩託班**に行っている。放課後の勉強を見てくれ、夕食まで出してくれるサービスなので、私と夫はそれぞれ職場の同僚と外食してから帰宅する形。今はまだ補習、塾などには行っていないが、これから中学なので、教育費はどんどん高くなると思う。公立なので制服、教科書などは安いため負担になっていない。

↓ 中国舞踊の教室



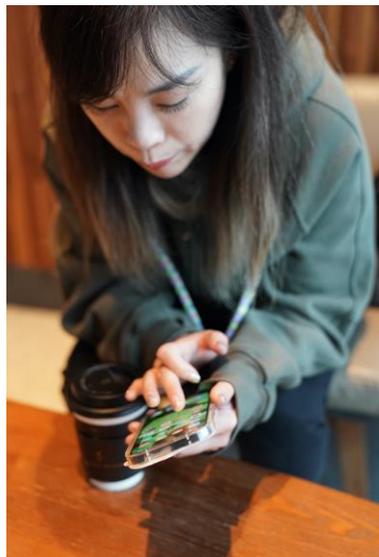
↑ 習字の教室

### <アプリ>

よく使っているのは「**抖音**」。ダンスをやっているから。「**微信**」だと友達にバレてしまうが、「**抖音**」は閲覧者が知らない人ばかりなので、自分のダンス動画を気軽にアップできるので。ただ、「**抖音**」は内容が雑多で、子供に見せたくない投稿もあるので、子供には「**bilibili**」を見せている。アニメやライブ配信を見ている。食事のデリバリーに使っているのはデリバリーアプリ「**美团**」、服などの買い物はEC「**唯品会**」が多い。購入時の決め手になるのは「**小紅書**」の解説や口コミ。実際に使った人の投稿なども見る。

買い物でよく使う「**唯品会**」

→



## 2-2-26. 休日が充実する郊外商圏生活

lilian(30代、会社員)



↑車は日産  
(ガソリン車)



↑ダイソンの掃除機

### <トレンド>

流行っているものは、私のまわりではやっぱりズンバ。踊りやすいし楽しいからだと思う。

コロナ前までは年3回くらい旅行していて、日本でもドラッグストアのコスメやイッセイミヤケのバッグを買った。日本の商品の魅力は、商品のパッケージがきれいなところ。

コロナ以降は買い物にやや慎重になっている。最近買ったものはダイソンの掃除機。これも、欲しかったというより前の掃除機が壊れたので買った。ダイソンを買った理由は友達の勧め。

流行を仕入れたり口コミを見るのは「小紅書」。ただ、最近は広告が多くなってしまっていて残念。いかにも広告という感じのものはあまり見ない。

### <ライフスタイル>

子供は中学生になったら家庭教師をつける予定。ただ、詰め込み過ぎる教育や、無理な勉強はさせたくない。娘も、「将来の夢は学校の先生。理由は夏休みと冬休みがあるから」などと言っている。そんな感じでいいと思う。

私自身は今後もやってみたい習い事がいっぱい。フラワーアレンジ、メイク、書道など。というか、早く定年退職したい。50代の知人は老人大学で編み物を習っているそうで、楽しそう。私も老人大学に入る予定。生活がより豊かになりそうなので。



←写真スタジオで  
家族写真を撮影

## 2-2-27. 働く女子の市内商圈一人暮らし CHEN(30代、会社員)

◆大手IT企業で働くCHENさんは、若者層に人気のカフェやレストラン、コワーキングスペースなどが点在する愚園路から徒歩圏内に居住。猫2匹とともに暮らすワンルームには、お菓子づくりの道具やナチュラルワインのボトル、レコードプレーヤーなどがセンス良く配置されていた。  
趣味は旅行で、サーフィンや大自然のなかでのヨガなど、アウトドア系アクティビティを楽しむのが定番だそう。



### プロフィール

CHEN(1992年生まれ、温州市出身、2016年より上海在住、長寧区在住)

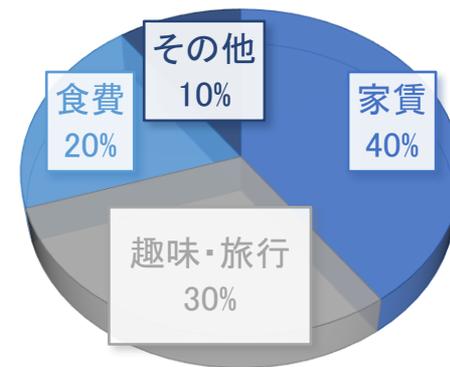
職業：会社員(IT) 世帯収入：2万5,000元 家族構成：一人暮らし

### <主な支出>

支出の割合が最も多いのは家賃(5,000元)。次に旅行。先日行ったバリ島旅行は5泊6日で予算は約1万元だった。外食は週3回ほどで、一回の予算は1人200~300元。通っているヨガは45元/時間(頻度は決まっていない)。ほか、レコードを集めたり、アウトレットモールに服を買いに行くこともある。

### その他トピック

- ペットの猫2匹にかかる費用は数か月で500元ほど。
- お菓子作りの材料やワインは「盒馬」で買うことが多い。
- 家電は「淘宝」で。土鍋など、使わないのに買ってしまうものがキッチンのスペースを取っている。
- 欠かせない家電はオーブン。特に冬は寒いのでオーブンを使い、ケーキを焼いたり肉を焼いたりしている。



## 2-2-28. 働く女子の市内商圈一人暮らし CHEN(30代、会社員)



↓この日は「大衆点评」でも話題の最旬クイニーアマン専門カフェ「FOTY」へ。自宅から徒歩圏内



### ＜愚園路エリアでの生活＞

住まいは中山公園エリアの商圈と静安寺エリアの商圈のほぼ中間地点に位置。歩いて行ける距離に最新のカフェやレストラン、ショップなどが多数あり、**シェアバイク**に乗ればどこへでも行くことができる。友達との食事や飲み会、買い物、ジム、流行のチェックなどが徒歩圏内ですべて可能。会社は楊浦区にあるため、地下鉄で通勤している。コロナ禍にEV車を衝動買いしたが、今は実家の父親に預けている。普段は使っていない。



←大型商圈に挟まれた住宅エリアに居住。生活に便利だが、静かな環境



↑ 普段の移動はシェアバイク

## 2-2-29. 働く女子の市内商圈一人暮らし CHEN(30代、会社員)

### <余暇の過ごし方>

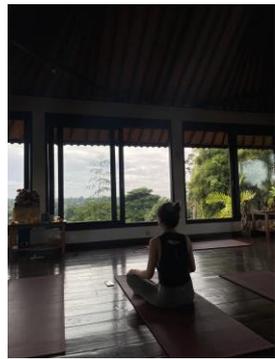
休みの日は家で**お菓子作り**をしていることが多い。今日はチーズケーキを作ってみた。友達が家に遊びに来たときなどにもよく出す。レシピは「**小红书**」から。あとは**グリューワイン**。今日は取材だと思ったので、ノンアルコールのグリューワインを作った。ノンアルのワインベースは「**盒馬**」で購入。ワインは家でも飲むし、外食時にも飲む。**ナチュラルワイン**が好き。最近は**日本酒**も飲む。外食で最近よく行くのは**焼き鳥屋**さん。一緒に行くのは飲み友達。予算は1人300元ほど。洋食の店も行く。**ビールは飲めない**。週末、時間のあるときは**ヨガ**へ行く。年間カードを買っているが、頻度は決まっていない。床暖房やシャワーも完備されている。もう3年くらい通っている。ほか、**シンキングボウル**(チベットの鐘を使った音楽療法の一つ)も。リラックスしたいときに参加している。習い事は語学。**広東語、フランス語、韓国語、英語**を習っている。

ノンアルの  
グリューワインベース→

自作の  
チーズケーキ→



## 2-2-30. 働く女子の市内商圈一人暮らし CHEN(30代、会社員)



↑ 旅先でサーフィンやネイチャーヨガを楽しんでいる



← 部屋にレコードプレーヤーも。スマホで聴くよりいいと感じる

### <ペット>

6歳の兄弟の猫を飼っている。最近飼った猫用品は、**水にもお湯にもなる飲水器**。**「小红书」**で猫の飼育歴が長い人の投稿を見て購入を決めた。部屋に飾ってある絵は、自分の猫を肖像画(印刷)にしてくれる人にオーダー。自宅のある小区には、アプリと連動する野良猫管理ツール**「街猫」**が設置されており、近所の人と野良猫の世話もしている。(「街猫」に関してはP.156で紹介)

### <トレンド>

**サーフィン**。先日もバリ島に行き、その隣のロンボク島で楽しんだ。海南島に行くこともある。**ネイチャーヨガ**も流行っていると思う。火山が見える山のなかでゆったり。そういう情報は**「小红书」**から。仕事柄、SNSへの投稿、検索などのデータを見ることが多い。**キャンプ**などのアウトドアは投稿数自体減っていて既に下火だと思う。現に、「小緑洲」(小红书傘下のアウトドア用品EC)は閉店してしまった。一方で最近SNSで投稿数が伸びているのは**フライングディスク(フリスビー)**。あとは**レコード**。収集が趣味で、友達と市内のレコードショップをまわったり、旅先のタイなどで買ったりしている。今後はスピーカーなども揃えたいと思う。



↑「街猫」ハウスにやってきた野良猫

## 2-2-31. 働く女子の市内商圈一人暮らし CHEN(30代、会社員)



### <住まい>

ベッドルームにキッチンがついたワンルーム。家賃は月5,000元。家で料理したり、友達を呼んだりすることも多く、居心地がいい。



趣味で各国語を  
学んでいる→



### <ライフスタイル>

IT業界は転職する人が多く、同じ業界をみんなが行ったり来たりしている状態。だが、2023年はどの会社も「辞めたい」という社員を引き止めなくなった。週休1日で日々残業という人も多く、ストレスを溜めている人は多い。私も何度か転職したが、今は安定を重視している。

最近、ボーナスが現金と自社の株の半々だというケースもあるようで、景気の影響を実感している。社員に株を持たせることで、仕事への意欲や業績アップを図るというもの。

余暇は旅行、趣味などやることがたくさんあり、語学の勉強なども楽しい。なので、恋愛はする時間がない。

## 2-2-32. Z世代フリーランサー 奕辰(20代、モデル・フォトグラファー)

◆大手メーカーのモデルを務め、自身もフォトグラファーとして活動の幅を広げつつある奕辰さんは、上海に住むZ世代男子のアイコン的存在。市中心部の嘉善路(淮海中路エリアの商圈に隣接)に、実家のある広西省から連れてきた飼い猫と暮らしている。最近の趣味はアイスライミングだそう。スケボーやレコード、MIDIでの音楽トラック制作などにも長くハマっている。趣味・トレンドの情報収集は海外のSNS等から。



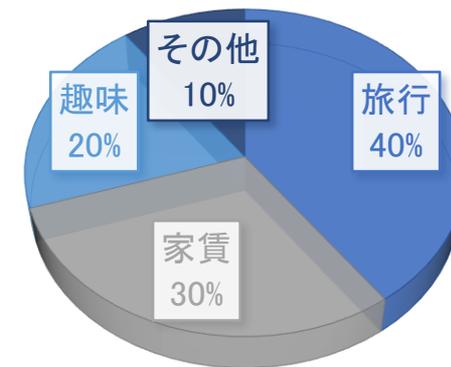
### プロフィール

奕辰(2000年生まれ、広西省出身、2019年より上海在住、徐匯区在住)

職業:フリーランス(モデル、フォトグラファー) 世帯収入:平均2万元 家族構成:一人暮らし

### <主な支出>

支出の割合が最も多いのは旅行代。特に航空券代。友達と常にどこかへ出かけているので、毎月6,000元はかかっている。次に家賃(5,000元)。そのほか、趣味(レコード、スニーカー、レトロなおもちゃ集めなど)、外食(1回の予算は1人150元ほど)など。洋服は古着、旅行用品は「拼多多」で買うなど、安くてもいいものはないと考えている。



### その他トピック

- 猫にかかる費用は月200~300元。電動給水器なども使用している。
- コレクションや趣味のグッズ、日用品は「淘宝」、グループ購入EC「拼多多」で買うことが多い。
- 外食もするが、週3~4回は自炊している。料理も好き。
- 旅行時の支出は交通費がもっとも多い。宿泊は友達の家。気候がいい時期はテントも。

## 2-2-33. Z世代フリーランサー 奕辰(20代、モデル・フォトグラファー)



元々の内装はあまり気に入っていないが、自分なりにインテリアを工夫↓

### <市中心部での生活>

住まいは古い住宅が残る嘉善路の古民家。2~3階建ての煉瓦造りの建物で、木造の階段を上がって部屋に入る。外壁と小区内は現在工事中。室内はリノベーションしたメゾネットタイプの部屋。

カフェやバーが集まる永康路、市中心部を代表する商圈・淮海中路などへも徒歩圏内。普段の移動手段はシェアバイク。



## 2-2-34. Z世代フリーランサー 奕辰(20代、モデル・フォトグラファー)

### <余暇の過ごし方>

ほとんどが**旅行**。月の半分かくらいは出かけている。いちばん最近では**新疆ウイグル自治区**へ。目的は**アイスクライミング**で、期間は約2週間。予算は5,000～8,000元くらいだったと思う。まだ初心者なのでコーチをつけた。1時間600元と高かったが、危険なので。

アイスクライミングを始めたきっかけは、まだあまり誰もやっていない分野だったから。普段の友達と、何か違うことやってみようという話になって。ほかにも**山登り**に行ったり**海**に行ったりもする。理由は、上海にずっといるとストレスが溜まってくるから。友達とやることといえば、**カフェ**や**バー**でおしゃべりするだけ。つまらないと思う。



←アイスクライミング、スキー、スノボなどができる新疆はウインタースポーツ好きに人気



←部屋の一角にはロープ、シューズ、ハーネスなどのクライミング用品が



## 2-2-35. Z世代フリーランサー 奕辰(20代、モデル・フォトグラファー)



スニーカー、バックパックなどはインスタなどを吟味してから実店舗で。友達の口コミも情報源



### <アプリ>

主な情報源は**海外のSNS**。買い物をするときも、公式アカウントのあるブランドを見て、デザインや価格、材料などを吟味して決めることが多い。服やスニーカーは、吟味した上で**実店舗**で買う。仕事柄、広告はよく見る。写真などのセンスが良いブランドは気になる。最近だと**パタゴニア**や**怪獣商店(Freak's Store)**の広告がいいと思った。実際に商品も購入した。日用品などの買い物には「**淘宝**」や「**拼多多**」を使う。安いものが見つかるから。

### <ペット>

実家のある広西省柳州市から、上海に引っ越すのと同時に連れてきた猫。フード代、猫砂など合わせて**月200~300元**かかっている。キャットフード以外に**鶏胸肉**をたまに与えている。旅行に行くときは友人に世話してもらっている。



## 2-2-36. Z世代フリーランサー 奕辰(20代、モデル・フォトグラファー)

### <トレンド>

トレンドや商品の口コミはSNSよりもリアルの友達から得る派。最初は1人で上海に来て誰も知り合いがいなかったが、趣味を増やすと上海では友達がつくりやすいとわかった。今は、カメラ、音楽、スポーツなど。仕事でもいろんな人に会うし、彼らの話が参考になる。アイスクライミングも、スケボーをしていたときに知り合った友達と「やってみようか」という話になったのがきっかけ。なので、一般のトレンドにはあまり影響を受けていない。



古いカメラを多数所有



↑レコードでフィッシュマンズに出合った



### <ライフスタイル>

趣味が多いほど交友関係が広がるので、いろいろなことを楽しんでいる日々。音楽トラックの制作、粘土、レトロなおもちゃ集め、カメラ、ゲーム(PS5)、あとはレコード。友達とよくレコードショップに買い物に行く。

いちばん好きなアーティストはフィッシュマンズ。レコードで出会った。シティポップ系も好き。2019年に上海に来て、すぐにコロナ禍になったが、今とどう変わったかとも考えてあまり変わらないと思う。でも、交友関係は広がった、仕事を通して出会った友達も多いので、今後もいろいろなことをやっていきたい。

## 2-2-37.ブッシュクラフトキャンプを上海で 阿琼(20代、キャンプ場経営)

- ◆ 上海郊外で阿琼さんが経営するキャンプ場「TUNA」は、**ブッシュクラフト**を楽しむための場所。市販のアウトドア用品に頼らず、帆布テントや手作りのバンガロー、木彫りの食器、丸太の椅子など、すべて自然に帰る素材を使用したキャンプを楽しめる。昨今のキャンプブームとは方向性が異なるが、地元政府はオープンを歓迎してくれたという。自身が企画する市内でのポップアップイベントも好評を得ている。



### プロフィール

阿琼(1996年生まれ、遼寧省出身、2016年より上海在住、奉賢区在住)

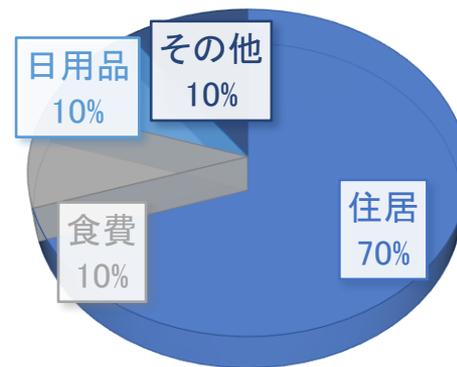
職業: キャンプ場経営者 世帯収入: 平均6,000元 家族構成: 一人暮らし

### <主な支出>

キャンプ場の運営経費やイベント出展などで、現在収入はほとんどないため親に援助してもらっている。支出がもっとも多いのは家賃。奉賢区の海辺の一戸建てで7,500元。仕事が趣味なので、余暇にはお金を使わない。手作りが好きなので最低限の日用品のみ購入。洋服ももったり作ったりしているのでまったく買わない。

### その他トピック

- 普段の移動は自家用車。親にもらった「大衆」の中古車を愛用。
- キャンプ場への投資額は7~8万元。まだ回収できていない。
- キャンプ場利用費は99元/人~。完全セルフサービス。
- イベントなどの仕事以外で市内へ行かないため、上海市内の事情はまったくわからない。買い物、外食はしない。



## 2-2-38.ブッシュクラフトキャンプを上海で 阿琼(20代、キャンプ場経営)



地平線が見えるほど何も無いエリア。上海市内でも郊外にはこういう地域がまだまだたくさん残っている

### ＜奉賢区での生活＞

経営するキャンプ場は**奉賢区三洪路**に位置。地下鉄の最寄り駅「**迪士尼**」駅から直線距離で約25km離れた場所にある。ここから南へ直線距離で約6kmの地点には**テスラ**の上海工場と研究開発施設がある。そのため、周辺にはまったく何もないが、有名外資の拠点があるためデリバリーは意外と便利。自宅はキャンプ場から南へ車で40分ほどの海辺に位置し、毎日通っている。この場所を選んだ理由は、**都会が嫌いだから**。あと、**海辺が好きだから**。すぐ海に遊びに行けるし、自然のなかで遊べる場所が多いから。自宅には庭があり、そこでも友達とキャンプしたりバーベキューをしたりしている。



## 2-2-39.ブッシュクラフトキャンプを上海で 阿琼(20代、キャンプ場経営)

### <余暇の過ごし方>

**余暇=仕事**。ブッシュクラフトに興味を持ったのは中学生のとき。アウトドア好きだった兄やアメリカのドキュメンタリーの影響。

たまに旅行にも行くが、すべて自然と遊ぶのが目的。洞窟探検、少数民族の生活圏に行くなども。

キャンプ場をオープンしたのは2022年。上海は土地の活用法が細かく決まっていて、キャンプ場の許可は最近やっと法整備されたばかり。オープンには奉賢区政府の人の視察や指導、許可証の取得が必要だが、環境やコンセプトなどを見て気に入ってくれた。地元政府ともうまく付き合っている。

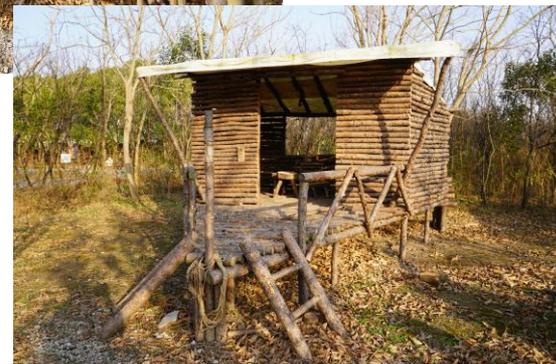
敷地内ではブッシュクラフトキャンプを自由に楽しめるほか(焚き火用の木など無料、食材は自由持ち込み、トイレやシャワーは提供)、火おこし、木彫り(カトラリー作り、置き物作りなど)などの**ワークショップも開催**している。バンガローを作りたい人も歓迎。

スタッフは山東省から招いた人で、私よりもキャンプのプロ。教わることも多いし、いろいろ企画をいっしょに考えたりしている。

市内のポップアップイベント、マーケット系のイベントに呼ばれることも多い。

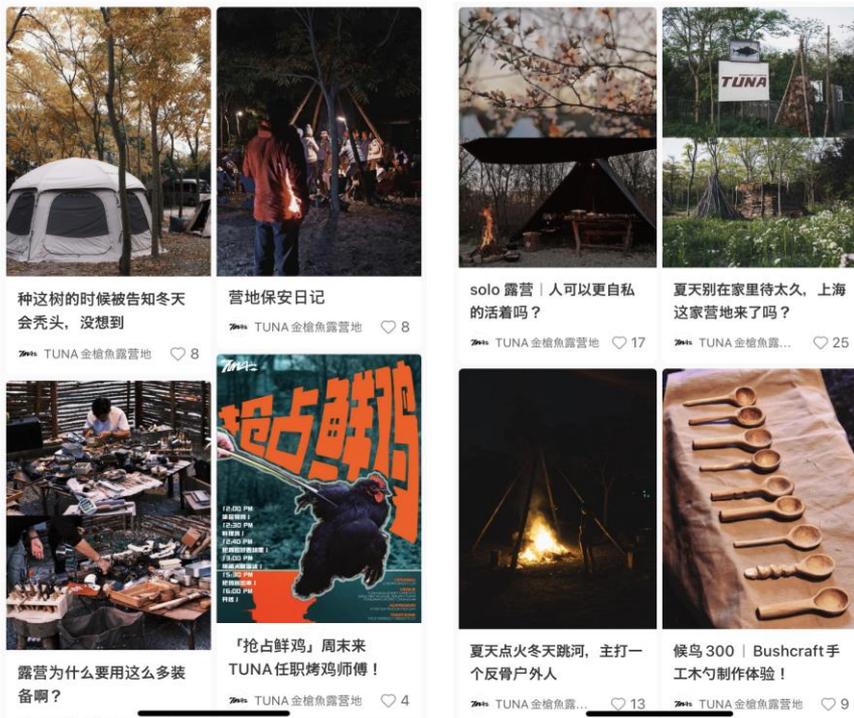


市販のテントやタープ、折りたたみ椅子は使わず、バンガローも手作り



←キャンプの専門家でもあるスタッフと手作りの運営を続けている

## 2-2-40. ブッシュクラフトキャンプを上海で 阿琼(20代、キャンプ場経営)



### <アプリ>

「**小紅書**」を最大限に活用。最初は集客がうまく行かなかったが、写真や映像にこだわるようになってからフォロワーが増えた。ほかに「**微信**」の**公式アカウント**にも写真や映像を投稿している。反響は大きい。見た人が市内のイベントへの出店を誘ってくれたりも。

### <トレンド>

オープン当時は写真を撮りたい若い人が多かったが、**最近**は**30~40代**が増えている。子供連れも多い。ブッシュクラフトは、最近前灘エリアに「**BCUN**」という専門店ができたと聞いた。私が「**TUNA**」をオープンした当時は誰もブッシュクラフトを知らなかったが、浸透してきたのではないと思う。1月には杭州にて**ブッシュクラフト大会**も開催される。ゼロから帆布テントなどの設営をしてスピードを競うというもの。



## 2-2-41.ブッシュクラフトキャンプを上海で 阿琼(20代、キャンプ場経営)

### <ライフスタイル>

今後も「趣味＝仕事」を頑張りたい。このキャンプ場は、土壌づくりや生えている草花にもこだわった。大学で土木を専攻していたので、こういう仕事は向いていた。

卒業後2年間、**プロゲーマー**だったことがある。子供の頃は子役モデルをしていた。ゲーマーの仕事は四六時中バーチャルな世界にいなければならず、2年やって退職。給与も低かった。今はゲームもまったくやらない。その反動か、今は生活でも仕事でも海や山など自然がないとダメ。

上海にはゲームの仕事がきっかけで来たが、**包容力のある街**だと思う。住んでいて心地いい。他都市のイベントなどに参加することもあるが、ブッシュクラフトと一般的なキャンプの違いを理解してくれない人が多い。だが、上海ではいろいろな人が興味を持ってくれる。

でも、ファームステイ施設だと思って予約してくる人、食事が出るものだと思ってくる人もいて、**アウトドア、キャンプ自体も深く理解していない人はまだたくさんいる**と感じる。こういう施設なのだという説明すると興味を持ってくれる人もいるが。

また、まだまだブッシュクラフトは知名度が低いと思う。根本が大自然と関わるということなので、みんなが理解すれば、山や海にゴミを捨てる人もいなくなるはず。ブームやトレンドではなく、本当に自然を満喫したい人に利用してもらえたら。今後はやや市内に近い場所か、他都市(杭州、北京など)にもキャンプ場を出したい。レストランもやってみたい。



## 2-2-42. 活発な母と、家事をこなす父と

Grace (40代、会社員)

- ◆ 教育施設のグラフィックデザイナーとして働くGraceさんは、70代の両親と3人暮らし。住まいは郊外の地下鉄駅に直結するマンション。両親のライフスタイルは真逆で、母は地域の活動のリーダー的存在。旅行にもよく出かけるという。一方父は家で家事をこなすのが日課。食事も毎日作ってくれるという。Graceさん本人の趣味はアイドルの推し活と、友人たちと食事などをして過ごすこと。結婚はしないという。



## プロフィール

Grace (1980年生まれ、上海出身、嘉定区在住)

職業:会社員 世帯収入:平均2万2,000元 家族構成:父、母(ともに70代)

## ＜主な支出＞

自身の給与は約1万2000元、両親の年金が2人で1万元。収入はそれぞれで管理しているのでグラフ化は難しい。住まいは持ち家で、2010年に両親が購入した。

母はよく旅行に行く。一回の予算は3,000～4,000元。

自身は定期的に友達と外食に行く。一回の予算は100～300元。ほか、1,000～2,000元/月を資産運用にまわしている。株は過去に失敗したので買わない。

## その他トピック

○日用品の購入は「淘宝」。もう20年以上使っている。

○家電の購入は「京東」。修理などアフターサービスが充実しているから。

○「双11」(ダブルイレブン)はよく調べると特別安くないことがわかってきたため利用しなくなった。

○「老年卡(高齢者カード)」があると地域の食堂を安く使えるため、両親はときどきそこで食事している。

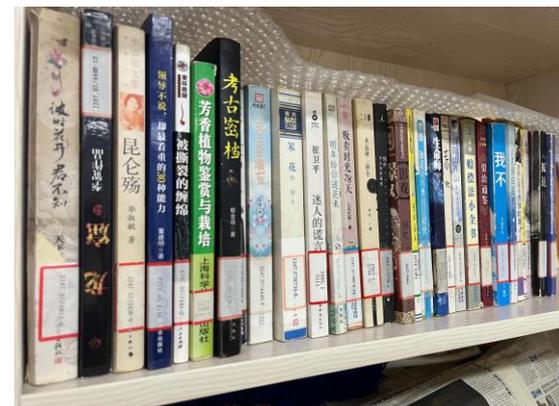
## 2-2-43. 活発な母と、家事をこなす父と Grace（40代、会社員）



駅とマンション棟が  
連絡通路でつな  
がったタイプの  
小区に居住

### ＜郊外住宅地の小区コミュニティ＞

地下鉄11号線「馬陸」駅に直結する棟のマンションに居住。同じ棟の低層階に「老年活動室」があり、同じ小区に住む定年退職者たちの交流の場になっている。卓球やトランプをしたり、いっしょにお菓子を食ったり。母は毎日「ああ楽しい」と言いながら出かけていく。母曰く、「高齢者にとって大事なものは健康と友達」。このスペースではそのどちらも得ることができる。父は内向的なのでほとんど家で家事をしているが、たまにトランプに行くことがある。



マンション内の「老年活動室」。おしゃべりや卓球、読書などを自由に楽しめる

## 2-2-44. 活発な母と、家事をこなす父と Grace（40代、会社員）

### <余暇>

私は仕事以外では「bilibili」を見ていることが多い。1日2～3時間。アイドルが好きで、推しは道枝駿佑。理由はかわいいから。ジムにも通っていたが、最近閉店してしまった。友人たちと定期的に食事にも行く。友人とおしゃべりしている時間がいちばん安心する。

母は主に旅行。小学校時代の友達と行くようで、2023年は江西省、雲南省、廈門、貴州に行った。それぞれ4～5日で予算は3,000～4,000元/人。旅先でもいろいろな出会いがあるようで、各地に息子や娘のような存在の人がいるらしい。彼らから毎年特産などが届く。

父は定年までエンジニアとして働いていたため、海外はパキスタン、国内も各地に仕事で滞在したことがある。そのため旅行は行かない派。酒もたばこもやらないので、趣味にほとんどお金をかけていない。

最近、父と2人で旅行に行った。行き先は千島湖。高速鉄道で行き、3日間滞在して予算は3,000元ほどだった。

自家用車は持っていない。住まいが地下鉄駅直結なので移動に便利だから。



社交的な母。  
旅先でも友達を  
作って帰ってくる。  
自動車模型  
集めも趣味



内向的な父は主に家で家事を担当。  
移動が多い仕事だったため、旅行には興味がない。

## 2-2-45. 活発な母と、家事をこなす父と Grace（40代、会社員）



両親も買い物、旅行などでスマホを使いこなす

### <アプリ>

食材は小区内のスーパーのほか、「盒馬」や地域に特化した食材EC「隣里叮咚」を利用。余暇に「bilibili」は見るが、「抖音」は見ない。理由は動画が短すぎるから。動画アプリ「人人」はドラマを見るのによく利用している。ライブコマースは利用していないが、董宇輝がMCのものは見る。プラットフォームは「抖音」だが、彼のであれば見る。彼の商品は米、トウモロコシ、肉類など農産物がメイン。話がおもしろいし、実際に品質もよく安いものが手に入るから。そのほかの買い物は「淘宝」。特色ある商品が豊富だから。「拼多多」はそれと比べると商品の種類が少ないと思うのであまり使わない。

### <トレンド>

両親も私もテレビはまったく見ない。家にはあるが、置いてあるだけ。10年前に買って、まだ壊れていない。さすが日本のメーカー。日本のブランドは好きだった。テレビを見ないため、情報はスマホや友人の口コミから得ることがほとんど。何かを買うときは「淘宝」などのレビューを見て吟味したり、友人にお勧めを聞く。



## 2-2-46. 活発な母と、家事をこなす父と Grace（40代、会社員）

### <ライフスタイル>

会社員として働いてはいるが、安定しているとは言えない。どの業界で働いている人も不安を抱えていると思う。だが、両親の生活を見ていると、割引になる高齢者向け食堂が設置されるなど、福祉面はどんどん良くなっていると感じる。

コロナ前と今との変化はあまりないと思う。洋服なども、私はもともとそんなに買うほうではなかった。日常でいちばん楽しいのは、学生時代の友達との食事。中学生のときの友人ともまだ仲がいい。いつも会う5人のうち、結婚しているのは1人だけ。私も結婚しないと思う。一人暮らしはしたことがなく、子供の頃から両親と3人で暮らしてきたので離れたくないという気持ちもある。これから独立しようとしても家賃が高いので難しい。

だが、結婚している友人ともずっと仲が良く、自然な関係を保っているのが心地いい。友達のはいちばん心理的に安心する。家のこととか、体調が悪い時のケア方法とか、いろいろな情報を普段からシェアしている。



←Graceさんの自室



## 2-2-47. 定年後の夫婦の暮らし 周国強・曹小鳳(70代)

- ◆ 40代の息子と中学生の孫と暮らす周さん、曹さん夫婦は共に70代。2人とも定年退職し、孫の世話や旅行、趣味などを楽しんでいる。住まいは浦東新区で、普段の移動は**電動バイク**を使う。小区のなかに設置されている体操器具で体を動かすのも日課。スマホは息子や孫に教わりながら使いこなしており、友達同士の**グループチャット**や買い物など日常的に使用している。



### プロフィール

周国強・曹小鳳(1950年代生まれ、江蘇省出身/上海籍、浦東新区在住)

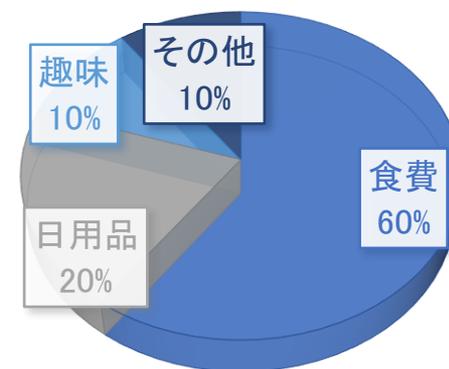
職業: 無職 世帯収入: 年金1万1,000元+息子の給与 家族構成: 息子(40代)、孫(13歳)

### <主な支出>

支出がもっとも多いのは食品や食材。だいたい5,000元ほど。ほかに日用品、趣味の旅行代など。孫にほしいと言われたものも買ってしまふ。補習代なども払っている。洋服などは友達とショッピングモールに出かけた時に店舗で見て買うこともある。旅行や交通費は高齢者向けの割引を使う。周さんは元軍人のため、地域によって交通費、入場料などが免除されている。

### その他トピック

- 電動バイクは2台所有。値段は1台3,000~4,000元。
- テレビをよく見る。メーカーはソニー。8,000元。
- ペットは魚。餌代は半年で20~30元。
- 日常の買い物は近所のスーパーと「淘宝」などのECの両方を使っている。



## 2-2-48. 定年後の夫婦の暮らし

## 周国強・曹小鳳(70代)

※以下、主に奥さんの曹さんが回答。

### <住まい>

浦東新区の地下鉄8号線沿線のマンションに居住。以前住んでいた家の**立ち退き時に出た補償金**などで購入した。3LDKに息子、孫と4人で暮らしている。近所にはスーパーもあり、小区入り口にはまもなくショッピングモールがオープンする。点心などを売る食堂などもあって生活に便利。近所に行く足は**電動バイク**。ほぼ毎日乗っている。



電動バイクは夫婦で1台ずつ所有。メーカーは「依萊達」と「新本岡田」。電池のスペアも保有。



料理などは奥さんの曹さんが担当している



## 2-2-49. 定年後の夫婦の暮らし

## 周国強・曹小鳳(70代)

### <余暇>

**旅行**。毎月のように出かけている。ここ数か月で北京、雲南省、広西省に行った。予算は決まっていないが、毎回数1,000元だと思う。同行者は近所に住む人。この小区に引っ越してからいろいろな人と知り合い、ご近所友達がたくさんできた。一緒にグループ購入などもする仲。

旅行は、ツアーではなく自分たちで決めて行く。自分の友達と行くので夫とは行かない。夫は軍隊にいたときの友人がたくさんいるので、彼らと行く。

最近**寧波**、**昆山**などに行ったようだ。

周さん「江蘇省は**退役軍人の優遇**が多い。まったく優遇がない場所もあったりと、地域によって異なるため、旅先選びのポイントになる。昆山は江蘇省なので、優待証を見せると交通費、観光地への入場料などがすべて無料だった。だが、旅行は自分から行くというより、誘われたら行くという程度。妻のように毎月行き先を自分たちで決めて行くほどではない」

周さん「家にいるときは**テレビ**を見ていることが多い。スポーツ観戦が趣味。**サッカー**、**バスケット**、**卓球**などの**プロリーグの試合**が面白い。あとは**ニュース**」



↑ 軍隊にいたころの仲間たちとは今も仲良し。家にいるときはテレビをよく見る→

↑ 近所の旅行仲間と立ち話



## 2-2-50. 定年後の夫婦の暮らし

## 周国强・曹小鳳(70代)



### <アプリ>

友人たちと「**微信**」のグループで写真を送り合ったり情報交換したりしている。それだけでも**1日8時間**くらいスマホを見ていると思う。あとは「**头条**」などでニュースを閲覧したり、「**淘宝**」「**支付宝**」など買い物に必要なアプリを使っている。トップ画面を見てわかると思うが、実際に使っているアプリは多くはない。スマホのメーカーは**VIVO**。

### <ペット>

金魚5匹。もう**5歳**くらいになる。最初買ってきたときは小さかったが、思った以上に大きくなった。周さん「週1回水を変えている。餌はスーパーで缶入り(20~30元)を買い、これが半年ほどもつ。



## 2-2-51. 定年後の夫婦の暮らし

## 周国強・曹小鳳(70代)

### <トレンド>

広場舞は流行っているが、足が悪いので参加していない。友達の間では、**双11※に服などを買うこと**が流行っている。健康情報に関心があるため、流行は友達とのチャットや病院などから得ることが多い。だが、自己流の部分もある。医者はそのままで運動しなくていいと言うが、毎日小区内の運動器具で運動したり、小区内を歩くようにしている。家電などを買うときは、**広告、テレビCMやテレビでの紹介**を見て、実際に店頭で見決めて決める。

※双11:ダブルイレブン。毎年11月11日(前後)のネット安売り期間。



### <ライフスタイル>

夫は元軍人で私は国営会社で電話交換の仕事をしていた。**年金は夫が6,000元/月、私が5,000元/月**。旅行にも行けて孫に好きなものを買ってあげることもでき、満足している。コロナ前と今の違いは**スマホを見る時間が長くなったこと**。理由は、ここ数年で使い方を覚えたため。以前は友達とは電話でおしゃべりしていたが、今はグループチャット。孫もスマホを持っているが、学校には持っていけない。近所に気の合う友達が多いので、今後も頻繁に旅行に行く予定。最近友人が電動車椅子を買った。便利そうだが、私はまだ自分の足で歩きたいので運動を頑張りたい。



## 第二部 第三章

# 消費者インタビューから見えてきた 上海のキーワード・トレンドを深掘り

～EV車/デリバリー/ペット/スポーツ/カフェ～

## 2-3-1. コラム①EVの普及で変わる市民のライフスタイル

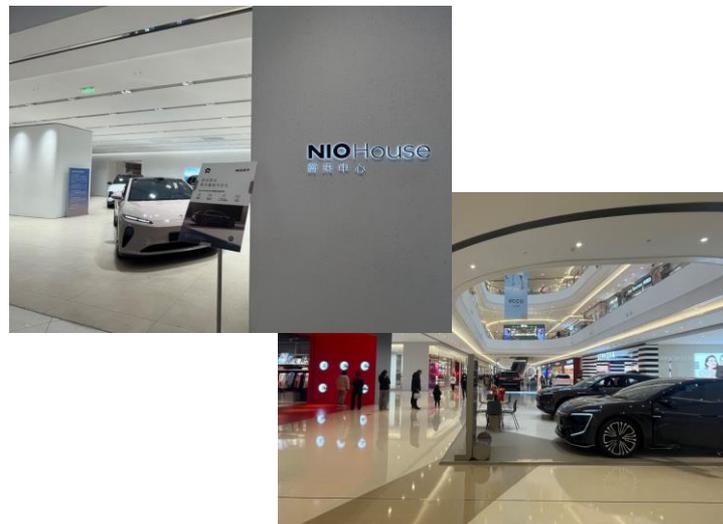
### 上海のEV事情

上海市のEV(純電動自動車)の普及率は、2022年6の時点で36%となっており、2025年には50%に達すると予測されている。EVを含む新エネルギー車の普及率は同年までに60~70%になるとの予測もある。

2023年の販売量トップはBYD傘下の**秦PLUS**。小型PHVセダンで、10万元を切る価格帯が多くの人に支持された。

中国版テスラとも言われる**NIO**は、人気の**es8**が約50万元という価格帯ながら、顧客へのライフスタイルの提案とコミュニティを重視したマーケティングで人気を得ている。上海市内にもユーザーが無料で使えるスペースを数カ所設置している。また充電ではなく、**専用スタンドでバッテリー交換**する方式も強みとなり、人気を維持している。

消費者がEVを選ぶ理由としては、環境への意識の高まり、新しいものを試してみたいという好奇心などのほか、ガソリン代の高騰なども理由に挙げる人が多い。EVに買い替えてからガソリン代が月1,000元ほど節約できたという声もある。**ショッピングモール内のオーナー向けラウンジ**は休憩所として人気。また、通常9万元ほどかかる**ナンバープレート代の免除**のほか、昨年に引き続き2024年1月から2025年末まで、**車両购置税(自動車所得税)**が免除されるという政策が施行されており、これもEVを選ぶ決め手の一つになっているとみられる。



インタビュー2-2-27でCHENさんがコロナ禍に接触を避けたくて衝動買いしたEV車

## 2-3-2. コラム①EVの普及で変わる市民のライフスタイル

### 上海人の生活とEV

2022年に**テスラ**が中国限定で車内用カラオケマイクを発売。以降、**Yudo Yuntu**がカラオケとゲーム(専用コントローラー付き)を楽しめるEVを発売するなど、カラオケや音楽鑑賞、大型ディスプレイを生かしたゲーム、映像の視聴、ライブ配信などを楽しめる車種が注目を集めている。キャンプなどアウトドアの場でも、普段と同じように遊べるのが売り。モビリティのエンタメ空間化は今後も進むと考えられる。

2022年ごろから若い層の間で人気となった**宏光MINI**は、3万元代から購入でき、自由にカスタマイズできることで話題に。痛車はもちろん、屋根に荷台をつける、広告看板をつける、内装を変える、アートのようなペイントを施すなど遊ぶことができる。若い女性がEVの改造に興味を持つ例も増えており、「小紅書」でも多数投稿が見つかる。

一方、ポータルサイト「百度」が複数の記事からまとめた「新エネルギー車のメリット」TOP20では、環境に良い、節約できる、運転効率がいいなどが上位3位となり、20位まで「災害時に充電できる」などの回答は入っていなかった。日本の被災地での実用例などを説明することで、新たなメリットを消費者に提案することも今後可能なのではないか。



参考データ: 網易-重慶汽車資訊 2023年3月5日 <https://m.163.com/dy/article/HV3N72SJ0556233C.html>

百度-搜索智能精選 2024年1月現在 [https://m.baidu.com/sf?pd=topone\\_multi&atn=index&word=新能源汽车优点](https://m.baidu.com/sf?pd=topone_multi&atn=index&word=新能源汽车优点&lid=16907712525385309996&key=sXinX4HGxjU4FJWVHO%2By494FnJcuGkx6Q4IV%2BSpjX2dDPTLqZUOWa3Jr2HbxKizb6hddqnfTC%2FdJIP2mNw8ku4bEWQR6SX3uk%2BeSCR7%3D&top=%7B%22sfhs%22%3A1%7D&type=bpage)  
[https://m.baidu.com/sf?pd=topone\\_multi&atn=index&word=新能源汽车优点](https://m.baidu.com/sf?pd=topone_multi&atn=index&word=新能源汽车优点&lid=16907712525385309996&key=sXinX4HGxjU4FJWVHO%2By494FnJcuGkx6Q4IV%2BSpjX2dDPTLqZUOWa3Jr2HbxKizb6hddqnfTC%2FdJIP2mNw8ku4bEWQR6SX3uk%2BeSCR7%3D&top=%7B%22sfhs%22%3A1%7D&type=bpage)

## 2-3-3. コラム② 日常に欠かせないデリバリーアプリ

### 上海のデリバリー事情

上海市民にデリバリーアプリが定着したのはキャッシュレス決済が普及した2017年頃。同年、代表的なアプリの一つ「**餓了麼**」は全国2,000都市カバーを達成。ユーザー数は2.6億人に達し、現在もその数を維持している。「**美团外卖**」は1,300都市をカバー。ユーザー数は2.5億人。

オーダー方法は、アプリを開いて距離、配達時間などをもとに店舗を選び、メニュー、数量を選んで決済する。オーダー後の画面では配達員の位置情報を確認できる。オフィスビルなどではエントランス部分にデリバリー専用ロッカーがあり、そこに商品が届く(オーダー画面のQRコードで解錠)。料理を保温、保冷できるロッカーもある。「**美团外卖**」は、人気店ランキング「**全城必点**」を実施しており、ここにランクインしたレストランは**25kmの距離**までデリバリーを受け付けている。

「餓了麼」の配達員は「**藍騎士**」と呼ばれ、全国に700万人以上いると言われている。就業者とその家族の病気、貧困などをサポートする「**藍基金**」なども設置されている。また、2023年以降の不況により藍騎士を目指す人が増加。「**美团**」と併せて配達員が1,000万人を超えた。元藍騎士で社会的に成功した若者、富二代(親世代が富裕層)がやることなくして藍騎士になった、など配達員はさまざまなニュースや話題で取り上げられている。

参考データ: IT商業新聞網 2023年6月13日 <http://www.itxinwen.com/dianshang/20230613/123679.html>

龐明説財經 2023年6月29日 <https://baijiahao.baidu.com/s?id=1770002128732182627&wfr=spider&for=pc>



## 2-3-4. コラム② 日常に欠かせないデリバリーアプリ

### 料理以外のデリバリー

料理のデリバリーと同等に利用されているのが、「**盒馬**」や「**叮咚买菜**」などの食材デリバリー。「**盒馬**」は最短30分で生鮮食品や日用品を配達。生きた海鮮を配達してくれること、輸入食材の豊富さが売り。「**叮咚买菜**」は庶民的な食材が多く、中高年以上に多く利用されている印象。

「**餓了麼**」は、飲食店以外のサービスも豊富。「**買藥**」(薬局専用デリバリー)、「**水果鮮花**」(フルーツと生花)などがよく利用されている。「**跑腿**」のような、「コンビニでパン、カフェでラテを一杯、スーパーで洗剤」など複数の買い物を同時に頼めるサービスもある。また、「**餓了麼**」「**美团**」共に大きな文字とボタン、シンプルなサービスでまとめた「**老年版/長輩版(高齢者版)**」に切り替えることもできる。

2023年12月、五角場エリアにて**ドローンによるデリバリー**が始まった。指定の受け取り地点まで配達するもので、約3kmのデリバリーが15分で届けられる。現時点で4台のドローンが運行中。実施している「**美团外卖**」は、運行開始までに10万回の飛行試験を行なったとし、今後「15分社区生活圈(繁華街や地下鉄駅まで徒歩15分のエリアの住宅圏)」の消費者へのアプローチを行っていくという。数年後には、ドローンによるデリバリーが日常的になるのかもしれない。

参考データ: 一網通辦 2023年12月28日 <https://www.shanghai.gov.cn/nw4411/20231228/5a062c881d5b480b4890df68264167e.html>



盒馬



叮咚买菜



## 2-3-5. コラム③ペット関連サービスが進化中

### ペット用新商品続々

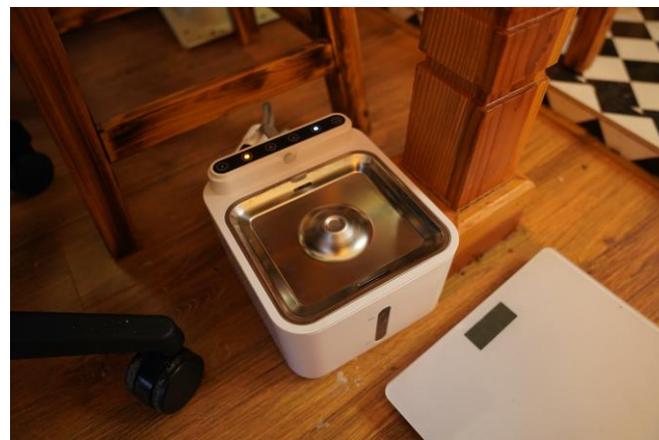
中国全土で飼われているペットの数は約2億匹と言われ、市場規模は**2,500億元**に達している。ペットを飼う大部分の消費者が都市部に住む高学歴の20～30代で、そのうち80%が女性だという。マーケットも食品、日用品、医療、アパレル以外にも細分化しており、さまざまな業界がペット市場に参入している。

なかでも注目を浴びているのが**ペット用家電**。「京東」のデータによると、2023年の双11(ダブルイレブン)はペット用家電、デジタル製品のオーダー数が前年比109%増となった。「抖音」で話題になった「加熱猫床(猫用温熱ベッド)」をはじめ、飲み水をお湯にできる飲水器、消臭機能があるスマートトイレ、留守番をスマホで見守れるカメラ、全身を一気に乾燥できるペット用ドライヤーなどが人気で、**ハイアール、小米、美的、華為、小熊**などの国内大手家電メーカーも続々参入している。

また、「京東」が環境に配慮した商品を展開している「青緑計画」や、コーヒーブランド「永璞珈琲」とペット用品メーカー「**小殼**」のコラボ商品など、抽出後のコーヒー豆を原料にした猫砂も注目を集め始めている。ごみ減量、消臭効果、原料の安全性など利点が多いと話題。環境に配慮した商品、これまでになかったアイデア商品などは今後も続々開発されるとみられる。



アパレル市場も盛況。多くの犬が衣服を着用



インタビュー2-2-32 奕辰さん宅の猫用自動飲水器

## 2-3-6. コラム③ペット関連サービスが進化中

### 保護犬猫に関するサービスも増加

2021年のデータによると、中国の野良犬の数は4,000万匹、野良猫は5,300万匹で、ペット市場が拡大するにつれてその数は増えているといわれる。公式データはないが、上海市内には保護犬猫の里親譲渡会などが複数開催されており、「58同城」などのアプリやSNSでも里親探しの投稿が多く見られる。

2023年4月に広西哈寵網絡科技有限公司がローンチした「街猫」は、小区内の野良猫を管理できるアプリ。地域の代表者が申請すると、同社が開発した定点カメラ付きの「管理猫屋」を小区内に設置することができる。猫屋にはエサ入れ、体重計などが設置されており、この猫屋がアプリ、ミニプログラムと連動。餌やり、避妊手術（同じ小区に住む人など、参加者から費用を募ることができる）、頭数の把握、健康チェックなど、付近に住む野良猫を管理することができる。また、避妊手術に関してはTNRのサービスも実施。人馴れしていない野良猫を専門スタッフが安全な方法で捕獲してくれる。

外部からも各小区のページを閲覧でき、募集のある猫については里親になることも可能。定点カメラはライブ配信もできるため、餌を食べたりくつろいだりする野良猫をスマホで見たいという人にも利用されている。



アプリ「街猫」に申請すると設置される「猫屋」。インタビュー2-2-27 CHENさん居住の小区にて。



## 2-3-7. コラム④スポーツは旅・レジャーで楽しむ

### 旅行しながら楽しめるスポーツが人気

「中国冰雪旅遊発展報告2024」によると、2023～2024年の雪のあるエリアへの旅行は前年比25～30%増となり、マーケットは**5,500億元**の規模となった。特に**スキー**、**スノーボード**が人気で、2025年までに国内ではインストラクターが10万人不足するという予想もある。背景には、2022年の北京冬季五輪でスキーの谷愛凌が活躍したこと、スノーボードが注目を集めたことなどが挙げられる。そのほか、**アイスクライミング**、**アイスフィッシング**などニッチなウインタースポーツに挑戦する人も出てきている。2024年の春節には、北海道・阿寒湖にアイスフィッシング(ワカサギ釣り)目当ての中国人が多く訪れたという話題もあった。

一方、夏は2021年ごろから**サーフィン**が人気に。2022年にはサーフボードの国内の販売量が前年比465%増加した。バラエティ番組『**夏日冲浪店**』の人気や、2021年前後のシティポップブームが背景にあるほか、コロナを経て新しいスポーツに挑戦したいと考える若者層が増えたことが理由だとみられる。**パタゴニア**、**デカトロン**などの海外ブランドが中国にてサーフィンに関する商品に力を入れ始めているほか、**WAVE**、**赤浪**などの国内ブランドも続々登場している。

どちらも旅行しながら楽しむスポーツで、ウインタースポーツは吉林省、新疆ウイグル自治区などに多くのスキー場ができています。サーフンは海南島、舟山、青島などが定番。



インタビュー2-2-32  
奕辰さん宅のアイスクライミング用品。  
ウインタースポーツは若い世代に人気。



インタビュー2-2-27 CHENさんの趣味はサーフィン

## 2-3-8. コラム④スポーツは旅・レジャーで楽しむ

### 日常で楽しめるレジャー的スポーツ

2022年以降、自転車をメインにしたライフスタイルショップ「**而意**」が北京から上海に進出。上海発のアウトドア用品ブランド「**An ko rau**」が企画する自転車での郊外ツアーが人気を得るなど、気軽に利用できてエコな自転車が注目されている。「**京東**」によると、2023年は9月までに自転車の販売が数930万台を突破。そのうちスポーツタイプの**ロードバイク**の販売数は前年比で301%増加した。

また、国家体育総局も力を入れ始めているという**フライングディスク**(フリスビー/アルティメット)は、公園やちょっとした広場があれば楽しめるシティスポーツとして定着。競技人口は2021年から25%ずつ増えており、2027年までに市場規模が645億1,000万元に達すると予測されている。「**年輕人新潮運動報告2022(若者に人気のスポーツ)**」TOP5は、**1位フライングディスク**、**2位スケボー/サーフスケート**、**3位自転車**、**4位ジムインストラクターのライブ配信**、**5位ボルダリング**。

ジムは、より専門的に筋トレ、ボディメイクなどができ、忙しい人でも通える「**24H私教(24時間営業のパーソナルジム)**」が人気。悩みや体質、ライフスタイルに合わせたメニューを組み立ててくれるサービスが主流になりつつある。そのほか、**バンジーフィットネス**、**ネイチャーヨガ**などジャンルも人気。**K-Popダンス**、**ズンバ**、**中国舞踊**、**ミュージカルダンス**など、以前から需要のあるダンス教室もジャンルが細分化してきている。



インタビュー2-2-22 lilianさんが通うダンススタジオ。友達作りの場でもある。

## 2-3-9. コラム⑤カフェの軒数が世界一の都市に

### スペシャルティコーヒー熱の高まり

上海市は2023年にカフェの軒数が**8,530店舗**となり、世界一カフェが多い都市となった。また、**スターバックスコーヒー**は2022年の時点で世界初の「1,000店舗以上ある都市」になった。

店舗は多いものの、市街地では平日でもどのカフェも賑わっており、テイクアウト、デリバリーなどの需要も高い。休日の午後はカフェがどこも満席と感ずることも少なくない。しかし競争は激しくなっており、技術や品質で差別化を図るカフェが増えている。

コーヒー好きの間では、豆の産地や農園名などを明記し、専門の焙煎師やバリスタが在籍する個人経営カフェを利用するのが主流。上海市内では「**SLAB TOWN**」「**ONIRII COFFEE**」「**Coffee Spot**」「**Terrafoam Coffee**」のほか、日系の「**堀口珈琲**」などがスペシャルティコーヒーのカフェとしてコアな層から人気を得ている。また、スターバックスや「**Seesaw Coffee**」などのチェーン店も採り入れている国産の雲南コーヒーの人気も高く、自家農園を持つカフェも増えている。

一方、さまざまな経営方法を試みるカフェも登場。「**熊爪珈琲**」は小規模チェーンだが、オーナー、店員、ロゴやパッケージのデザインなど関わる人すべてが障がい者。目が不自由でも操作できるコーヒーマシンを採用したり、聾啞者でも接客できるよう熊のぬいぐるみの手で意思表示するなど工夫がなされている。ボランティアや援助に頼らず、コーヒーのおいしさで売り上げを得ている部分も注目されている。



こだわりがある個人経営店が人気



壁から出た熊の手が対応する「熊爪珈琲」

## 2-3-10. コラム⑤カフェの軒数が世界一の都市に

### カフェスイーツのトレンドとセカンドウェーブ中国茶

カフェのスイーツメニューは速いサイクルで変化するが、2023～2024年現在よく見られるのは**シナモンロール**、**クイニーアマン**、**バスクチーズケーキ**、**ベーグル**など。カフェチェーンでは、「Peet's Coffee」の海塩太妃糖(シーソルトトフィ)がヒット中。自宅やオフィスでのコーヒーのお供に利用されている。

また、2022年に「Tea Stone」「開吉茶館」などがオープンしたことをきっかけに、従来の茶館とは異なるカフェのような中国茶専門店が増加。カップでのテイクアウトが可能で、コンセント付きのテーブルではパソコンを広げて仕事もできる。夏場はコールドブリュープーアール茶などの冷たいメニューも提供している。

2022～2023年の年末年始にブームとなった「煮茶」(囲炉裏でお茶を沸かしながらお茶請けなどを楽しむもの)の存在も追い風になった。コーヒーやアルコールよりもリラックスできるのが人気の理由。野茶(山などに自生する茶葉)を摘むためのトレッキングなど、アウトドア好きにもお茶が注目された。

一方、「喜茶」「奈雪の茶」など「茶飲」と呼ばれるお茶ドリンクのスタンドも根強い人気を得ている。

2023年上半期頃には、コーヒーやお酒を飲む人の間でも「**早珈****午茶****晩酒**」(朝コーヒー、午後お茶、夜お酒)という言葉が定着し、日常に中国茶を取り入れる若い層が増えた。今後もお茶派、コーヒー派のように二分するのではなく、融合しながら進化していくとみられる。



手作りスイーツのあるカフェも主流に



カフェ感覚で利用できる茶館が人気